



長崎被災協・被爆二世の会・長崎

二世の会ニュース

NO.24

発行日

2021年
7月27日

〒852-8115 長崎市岡町8-20 被災協気付

☎ 095-844-0958

hisaikyo2sei@yahoo.co.jp **FB**

須磨子忌の集い

4月2日（金）13:30～第46回福田須磨子忌の集いが行われ、被爆者や被爆二世や高校生など30人ほどが参加しました。

今年は、原爆詩人 福田須磨子さんが亡くなって47回忌でした。

黙祷の後、長崎被災協の田中重光会長の挨拶から始まり、参加者全員による献花、活水高校の生徒さんによる須磨子さんの詩の朗読や献歌、須磨子さんに寄せるスピーチ、長崎の証言の会の矢野正人さんの挨拶で閉会しました。

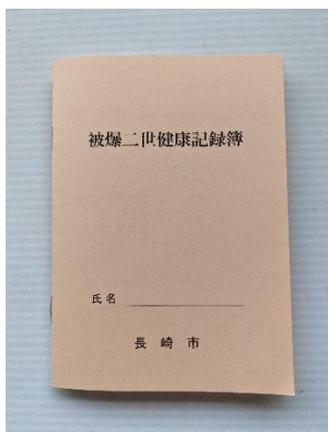
参加者の中に須磨子さんと交流のあった方がほとんどいなくなりましたが、須磨子さんの思いを引き継ぎ、これからも集いを続けていきたいと思いますと話しました。



「被爆二世健康記録簿」の説明会

4月17日（土）長崎被災協地下講堂にて、「被爆二世健康記録簿」の説明会を「被災協」「二世の会・長崎」「二世の会・諫早」の共催で行い、被爆者8名・被爆二世12名が参加しました。

この「被爆二世健康記録簿」は、私たち二世のこれまでの活動が実を結び、初めて国の予算で発行されたもので、被爆二世自身の既往歴や現病歴・被爆二世健康診断の結果記載欄・親の被爆状況等を書き込めるものです。





始めに長崎市原爆被爆対策部の前田部長にご挨拶頂き、長崎市の担当、調査課の数係長より記録簿についての詳しい説明が行われ、その後、参加者からの質疑応答にて記録簿について学びました。

「被爆二世健康記録簿」は、6月1日より長崎県原爆被爆者援護課(郵送でも対応)・各市

町役場・県立保健所・長崎市援護課・各地域センターのほか、原子爆弾被爆者健康管理センター(もりまちハートセンター6階)で配布されています。



残念ながら今回の記録簿は、被爆二世の公的な証明とはなりません。これが私たちの要請している「二世健診の内容充実」、「医療費助成の実現」に向けての第一歩だと期待しています。ぜひ二世健診を受診し記録簿を活用しましょう。

二世の会・諫早と会員拡大についての話し合い

5月25日(火)13時半より、被災協2階会議室にて「二世の会・長崎」5名、「二世の会・諫早」2名の役員で話し合いを行いました。



「二世健康記録簿」の6月からの配布開始を受けて、二世の会入会パンフレットの内容や活用法、会員拡大、行事、二世の医療保障などについて意見交換をし、

これからも定期的に連絡会を行っていくことを確認しました。

(なお、同封の二世の会パンフレットは7月に新たに作成したものです。)

2021 年度総会（書面決議）にて新会長就任！

2021 年度総会は、コロナウイルス感染拡大により、議案書の書面決議にて行われました。会員の皆さん、返信用はがきでのご回答ありがとうございました。おかげさまで会員の過半数の承認が得られました。

よって、この6月1日より現副会長の山崎和幸さんが新会長へ、前会長の佐藤直子さんが新副会長へと就任しました。新体制の二世の会・長崎を今後ともご支援、ご協力の程よろしくお願い致します。



山崎会長 就任挨拶

2021年6月1日付で新たな会長として就任する事になった山崎和幸です。

被爆者のこれまでの精力的な活動については改めて言うまでもありませんが、最高の敬意を評したいと思います。

被爆者が崇高な信念で被爆の証言や平和活動に頑張ってきた思いを、被爆二世として真摯に受け止め継続していくのは私たちの使命だと思っています。

「被爆二世の会・長崎」に参加された皆さんの思いを再度認識し共有化する事で、今後の活動を会員各位と共に協力して行ければ強い組織として発信できると確信します。

皆さんの核兵器に対する思い、原爆被爆の遺伝子を運命として引き継いでいる者としての思いを、今後の核兵器禁止と平和活動に積極的に発言して欲しいと思っています。

その先頭に立って私は会員の皆さんと共に県内外、国内、世界へ向かって発信をしていきたいと思っています。

これまでの活動をベースに新たな発信方法も取り入れて行きます。皆さんの斬新な企画の提言も楽しみです。「被爆二世の会・長崎」の組織の拡大を一緒に作り上げていきましょう。



浦上川緑地帯で花植え活動



6月13日(日)午前9時より11時まで浦上川緑地帯で花植え活動を行いました。

初めに浦上川で亡くなられた被爆者の方々への黙とうを行い、山崎和幸・会長が挨拶し、佐藤直子・副会長が流れを説明しました。

参加者は被爆者、被爆二世、三世、四世、市民、大学生、高校生、小学生で32名。家族4組、夫婦2組、友だち同士など誘いあって、楽しく交流しながらの作業でした。日々草、マリーゴールド、ガザニアなど300個の苗を植えました。



「日本政府に条約批准を迫る核兵器禁止条約4周年のつどい」



7月7日、核兵器禁止条約採択から4周年の日、「日本政府に条約批准を迫る核兵器禁止条約4周年のつどい」を平和祈念像前で被爆者5団体が開催しました。

被爆者代表7名が力強く、核兵器廃絶と日本政府に条約批准を求めて発言しました。雨が時折降りしきる中、120人が参加しました。

二世の会から佐藤直子副会長が司会を担当し、大越さんは横断幕を掲げ、つどいの事務局として佐藤澄人さん、柿田さんが参加しました。私たち二世の会は被爆者とともに核兵器のない世界の実現のため活動していきます。

「アップダウン原爆劇」試写会



7月14日(水)13時30分より被災協地下講堂で「アップダウン原爆劇」試写会を行いました。

被爆者4名と二世5名で試写の後、オンラインで北海道のアップダウンの2人に感想、良かったところ、加えてほしいことなど意見を出し、アップダウンからも自分たちの思いや質問

が出され、意見交換しました。お互いに意見を出し合いながら、良い作品に仕上がっていき、私たちもとても楽しみです。



8月11日(水)13時30分～、18時30分～ 被災協地下講堂で「アップダウン 今伝えたいこと 原爆劇」を上演します。

大人1,000円、大学生・高校生500円、中学生以下無料です。チケットは被災協まで。

浦上川緑地帯での草取り作業

6月13日に花を植えた後、6月28日に有志で草取りをしていたのですが、花が隠れるほど草が生い茂ったため、7月18日(日)午前9時から草取り作業を行いました。

始めに被災協の小峰副会長が「ここで池田早苗さんが弟さんを火葬されたように多くの人々が被爆者を火葬した場所でもあります。ここに花を植える活動は亡



くなられた被爆者の慰霊のため大変意義のあることと思います。」と挨拶されました。

被災協から被爆者ら3名、二世の会から8名、家族、友人、ナガサキユース、活水高校の先生、平和推進協会写真部会、マスコミの方々、合わせて21名。猛暑の中、日曜日にも関わらず、参加して下さった方々、本当にありがとうございました。

抜いた雑草は花の周りの土が暑さで乾かないように敷き詰めました。大勢の参加のおかげで、1時間ほどで作業を終えることができました。



第2回理事会

7月22日(木)13時30分より15時まで7名の参加で理事会を行いました。7月31日の原爆パネル写真展、8月9日の爆心地での献花式、8月11日の「アップダウン原爆劇」の内容や準備について話し合いました。



●6月28日、被災協では第73回定例評議員会が開催され、理事に引き続き、佐藤直子さん、柿田富美枝さん、新たに山崎和幸さん、高屋忠義さん(二世の会・諫早)、大宮美喜夫さん(同)が選出され、理事15名のうち二世が5名になりました。評議員は佐藤澄人さんに加え、新たに中島宏幸さん(二世の会・諫早)が選出され、16名中2名。被爆二世が被災協の運営を支えています。

●会費納入のお願い 2021年度の会費納入をよろしくお願いいたします。

年間3,000円(半年分ずつ納入可)、賛助会員1,000円です。

会員には日本被団協新聞、長崎被災協のニュースが毎月届きます。私たち二世の会は全国の被爆者運動、被爆二世の運動、核兵器を無くすための活動を全国の被団協、その傘下の二世の会とともにしています。

振込口座 ゆうちょ銀行 01730-6-123957

加入者名「長崎被災協・被爆二世の会・長崎」